

日米投信概況

世界のAI関連株ファンド～米国でETFが過去最大の純流入(設定も急増中)～

日本株ファンドに1年5か月ぶりの大きな流入～消費税と長期金利と日銀ETF～

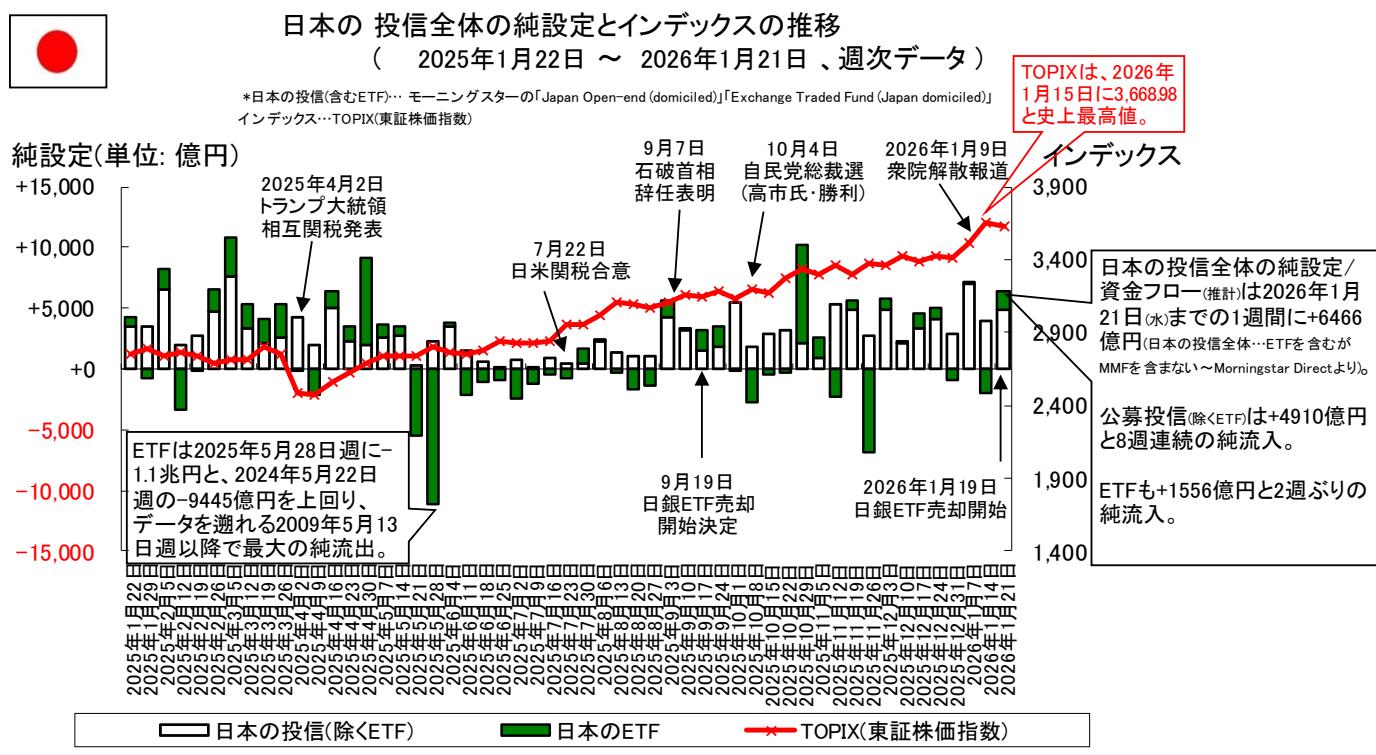
三菱UFJアセットマネジメント株式会社 経営企画部 松尾健治(kenji-matsu@am.mufg.jp)

窪田真美(mami1-kubota@am.mufg.jp)

- 日本で日本株ファンドに1年5か月ぶりの大きな純流入～消費税と長期金利と日銀ETF～p.1
- 米国でETFが過去最大の純流入(設定も急増中)。世界でAI関連株ファンドが拡大中。p.4

●日本で日本株ファンドに1年5か月ぶりの大きな純流入～消費税と長期金利と日銀ETF～

日本籍の投信全体の純設定/ファンド(マネー)フロー推計は2026年1月21日(水)までの1週間に+6,466億円と8週連続純流入(日本籍投信全体…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。 **公募投信(除くETF)は+4,910億円と8週連続の純流入**。 ETFも+1,556億円と前週1月14日週(-1966億円)から2週ぶりの純流入。



公募投信(除くETF)の2026年1月21日週の純設定額+4,910億円について分類別に見る。純流入1～3位はグローバル株、米国株、商品。2026年1月21日週の純流出1～3位はモデレート・コンサバティブ・アセットアロケーション、インド株、コンサバティブ・アセットアロケーション。

● 日本の投信の分類別週間純流入出(純流入の大きい順)
***ETF・MMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。**

2026-01-21現在

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万円)	純流入 前週 (百万円)	純流入 4週計 (百万円)	純資産 (百万円)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント経営企画部)
上位 10 分類	1 World Equity	+153,489	+141,104	+661,609	28,609,601	グローバル株
	2 US Equity	+69,685	+102,460	+424,203	32,271,607	米国株
	3 Commodity	+68,305	+41,114	+195,967	3,516,740	商品
	4 Japan Large-Cap Growth Equity	+56,657	-12,773	-23,708	9,115,974	日本株大型グロース
	5 World ex-Japan Equity	+46,240	+27,295	+165,729	17,275,512	グローバル株-日本を除く
	6 Japan Large-Cap Blend Equity	+41,608	+29,364	+120,418	7,103,011	日本株大型ブレンド
	7 Japan Large-Cap Value Equity	+24,265	+20,735	+67,035	2,259,643	日本株大型バリュー
	8 Moderately Aggressive Allocation	+20,607	+12,854	+76,612	5,710,285	モデレート・アグレッシブ・アセットアロケーション
	9 Sector Equity Technology	+19,282	-627	+38,061	9,839,956	テクノロジー株
	10 Aggressive Allocation	+16,803	+11,143	+49,537	1,223,524	アグレッシブ・アセットアロケーション
下位 10 分類	13 Japan Small/Mid-Cap Value Equity	+5,553	+5,456	+9,780	1,666,216	日本株中小型バリュー
	16 Japan Specialty Equity	+3,152	+1,398	+9,215	735,246	日本・特定テーマ/セクター株
	19 Japan Small/Mid-Cap Blend Equity	+1,745	+430	+4,030	357,838	日本株中小型株ブレンド
	75 World REIT	-1,888	+2,348	+1,563	1,999,474	グローバルREIT
	76 Japan Money Market	-1,976	-1,557	-470	35,294	日本マネー
	77 Country/Region Specific Bond	-2,284	-696	-3,787	480,299	単一国/地域債(インド債、ブラジル債など)
	78 World Equity - JPY Hedged	-2,318	-4,723	-7,992	561,757	グローバル株-円ヘッジ
	79 Other Bond	-2,319	-1,524	-4,559	570,335	その他債
	80 Japan Small/Mid-Cap Growth Equity	-2,794	-1,979	-7,124	1,094,913	日本株中小型株グロース
	81 Sector Equity Healthcare	-3,176	-3,353	-10,693	897,078	ヘルスケア株
全85分類の合計	82 US REIT	-4,807	-3,390	-13,993	2,195,386	米国REIT
	83 Conservative Allocation	-7,423	-2,973	-2,751	2,746,929	コンサバティブ・アセットアロケーション
	84 India Equity	-13,938	-7,238	-23,139	2,692,789	インド株
	85 Moderately Conservative Allocation	-25,185	-248	-16,454	3,130,871	モデレート・コンサバティブ・アセットアロケーション
指標名		リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
TOPIX (東証株価指数)		-1.49	+3.78	+5.49		
S&P500		-0.72	+0.10	-0.73		
MSCI ワールド		-0.86	+0.43	-0.03		

(出所: Morningstar Direct 及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドルベース、配当込み指標)。

日本株ファンドは1月21日週に+1,302億円と2024年8月7日週(+1,648億円)以来約1年5か月ぶりの大きな純流入

(←1月14日週+426億円←1月7日週-460億円)。 1月9日(金)夜の読売新聞で「通常国会冒頭1月23日で首相が解散を検討している」と報じられて

(2026年1月9日付読売新聞「高市政権安定へ勝負…衆院解散検討、高支持率で慎重論振り切る」~ <https://www.yomiuri.co.jp/politics/20260109-GTTT0022/>、2026年1月13日付投信調査コラムNo.436「どもNISAとランプ口座と529プラン(ターゲット・エンロールメント・ポートフォリオ)~税制改正(解散総選挙で成立は?)!つまたNISAの18歳未満と新指標、債券中心投信、暗号資産ETF~」~ https://www.am-uafg.jp/report/investigate/column_260113.pdf)、「早期の衆院

選で高市早苗首相が権力を固め、財政出動を拡大

(2026年1月24日付Bloomberg「高市トレード」崩れる、日本国債市場の突然の混迷で株強気派に警戒感)~

<https://www.bloomberg.com/jp/news/articles/2026-01-24/TNCK0G7NHLT00>)、「成長戦略加速への期待」(2026年1月24日付日経ヴェリタス「株6万円かトリブル安か プロが乗る解散相場 高市トレードの命運」~<https://www.nikkei.com/prime/veritas/article/DGXZQHUB199B30210C26A1000000>)から日経平均株価は先んじて1月14日に過去最高値5万4,341円まで上げた。 1月23日(金)に読売新聞の報道通り、1月23日(金)招集通常国会で高市早苗首相が衆院を解散、2月8日投開票総選挙とした(解散と高市首相の「国内投資の加速」…2026年1月26日付投信調査コラムNo.437「米欧中で国内投資促進策強化!(米トランプロ座、英TAF&ISA&ハブ&DC、仏PEA&伊PIR、中国の個人養老金制度)、日本では維新の会や国民民主党がNISAの国内投資枠を要望(参政党も近い要望!!)」~ <https://www.am-uafg.jp/report/investigate/>)。

1月14日に日経平均株価が過去最高値5万4,341円まで上げ、その後5日続落、1月21日(水)に52,774.64円となり、1月23日(金)に53,029.87円で引けた(2025年12月30日50,339.48円の+5.3%上)。 1月19日に中道改革連合が食料品の消費税率を恒久的にゼロにする政策を発表

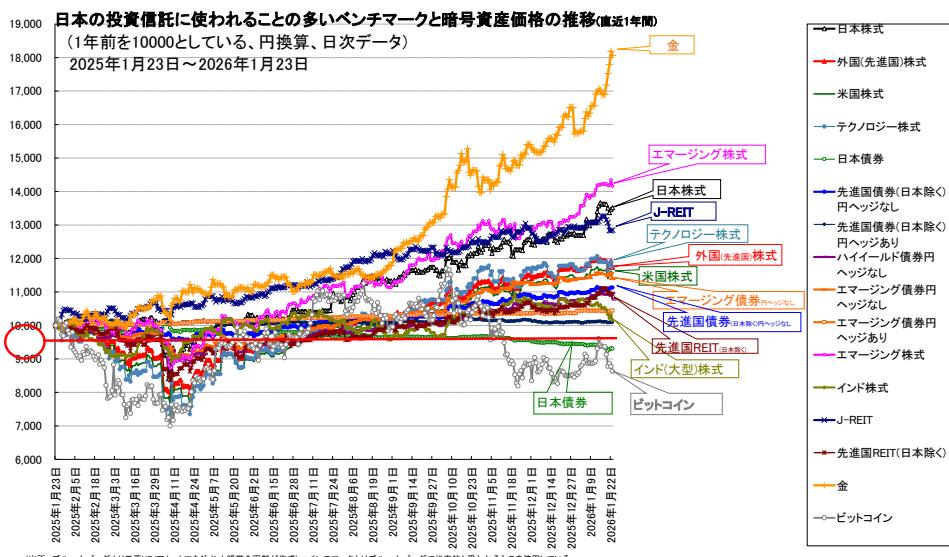
(2026年1月19日付立憲民主党ホームページ「【基本政策発表会見】『生活者ファースト』で社会を再設計 食料品消費税ゼロやジャパンファンド創設掲げる 本庄・岡本両政調会長」~ https://cdp-japan.jp/news/20260119_0074)、1月19日に高市首相が食料品の消費税率を2年間ゼロにする検討を加速すると言(2026年1月19日付首相官邸ホームページ「高市内閣總理大臣記者会見」~ <https://www.kantei.go.jp/jp/184/statement/2026/0119kisen.html>)、1月20日に長期国債利回りが急騰、新発30年国債利回りは一時3.875%まで上昇、新発40年債利回りも4.215%となり、過去最高を更新した。

日本株の売り材料がもう一つ、それは1月16日に日本銀行が保有ETFについて1月19日(月)から売却を実施すると発表した事である(2026年1月16日付日本銀行『指數連動型上場投資信託受益権等の処分の指針』の実施日について)~ https://www.boj.or.jp/mopo/mymodei/mpr_2026/mpr200116a.pdf 、2025年9月19日に日銀がETFを簿価で年3,300億円(時価で年6,200億円)、売却する事を発表…2025年9月19日付日本銀行(参考)ETF等の処分に関する決定(2025年9月金融政策決定会合)~ https://www.boj.or.jp/mopo/mymodei/mpr_2025/12200919b.pdf および2025年9月29日付投信調査レポートNo.444「日銀ETF売却を実施する前後の日米での日本株投信日次純流出入~100年は高リスク・流動性低下・企業統治問題?日本版SWF(政府系ファンド)や20年案~、日米ともにゴールド/金ファンドは純流入好調!」~ https://www.am.mufg.jp/report/investigate/report_250929.pdf)。

日銀は保有ETFを年間3,300億円ずつ売却する計画で、「毎月一定のペースで売却を進める見通し」(2025年12月15日付ブルームバーグ「日銀が来月にも保有ETFの売却開始へ、100年以上の長期計画に」関係者)~ <https://www.bloomberg.com/p/news/articles/2025-12-15/TTAKTYT960SG0> の場合、月間275億円の売却となる。日本銀行が発表する営業毎旬報告をみると、2026年1月20日現在の保有ETFは簿価で37兆1,862億円と、前回発表の1月10日時点から変わっていない為、実際の売却額を確認出来るのは2月上旬(1月31日時点)になりそうだ。日本のETF全体の純設定は2026年1月15日(木)+745億円、1月16日(金)-242億円、1月19日(月)+98億円、1月20日(火)+319億円、1月21日(水)+635億円、1月22日(木)-428億円、1月23日(金)+122億円だった。日本最大のETF(TOPIX型)は、2026年1月15日(木)-75億円、1月16日(金)+3663万円、1月19日(月)-6278万円、1月20日(火)-149億円、1月21日(水)-73億円、1月22日(木)-373億円、1月23日(金)+153億円だった。

1月19日に中道改革連合が食料品の消費税率を恒久的にゼロにする政策を発表したが、その財源について「新たな財源確保策として、年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)の運用ノウハウを活用した政府系ファンド『ジャパンファンド』の創設を提唱した」(2026年1月19日付立憲民主党ホームページ「【基本政策発表会見】『生活者ファースト』で社会を再設計 食料品消費税ゼロやジャパンファンド創設掲げる 本庄・岡本両議員会長」~ https://cdp-japan.jp/news/20260119_0074)。(衆院で中道改革連合となつた)公明党は2025年9月26日に「『日本版ソブリン・ウェルス・ファンド創設検討委員会』(委員長=上田勇参院議員)は25日、衆院第2議員会館で会合を開き、**政府系ファンドの創設**を巡り、日本総合研究所調査部の河村小百合主席研究員を招いて、政府部門の資金運用の効率化や持続可能な財政運営を確保するための課題について講演を聴き、活発に意見を交わした。冒頭、上田委員長は『外貨準備や**日銀が保有するETF**などを含めて、どういう資金を運用していくのか議論していきたい』と述べた。河村氏は、現在の政府部門の資金運用には効率化の余地があると指摘。外貨準備や**日銀のETF**を念頭に運用効率の課題などを論点整理した上で、**海外の事例**を踏まえ見解を述べた。」としている(強調下線は当レポート筆者、2025年9月26日付公明党「資金運用、効率化に余地」~ <https://www.komeit.or.jp/komeinews/p450111> 、

2025年9月29日付投信調査レポートNo.444「日銀ETF売却発表前後の日米での日本株投信日次純流出入~100年は高リスク・流動性低下・企業統治問題?日本版SWF(政府系ファンド)や20年案~、日米ともにゴールド/金ファンドは純流入好調!」~ https://www.am.mufg.jp/report/investigate/report_250929.pdf)。国民民主党もかねてより日銀保有ETFの含み益33兆円を財源にする事を提案しており(2023年10月26日付国民民主党「【参考会議】大塚代表代行が岸田総理の所信表明演説に対する代表質問で登壇」~ https://new-kokumin.jp/news/det/20231026_1)、2025年9月22日付国民民主党・玉木雄一郎代表コメント… <https://www.komeit.or.jp/komeinews/p450111> 、2024年10月28日付投信調査コラムNo.412「世界のETF~暗号資産(仮想通貨)ETF、ヘッジファンド保有ETF、アクティブラボ、テーマ&バッファ-ETF~ 欧州のETF~債券ETF、アセットオーナー保有ETF~ 日本のETF~日銀保有ETF~」~ https://www.am.mufg.jp/report/investigate/column_241028.pdf)、今後、日本株の売り材料として注目される可能性がある。



●米国でETFが過去最大の純流入(設定も急増中)。世界でAI関連株ファンドが拡大中。

米国籍投信の週次純設定/ファンド(マネー)フロー推計は2026年1月14日まで(※1月21日までのデータはモーニングスターが未発表のため、最新1月14日までの)の1週間に+672億ドル/約10.6兆円と29週連続純流入(米投信…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。この内、米投信(除くETF)/ミューチュアルファンドは-67億ドル/約1.1兆円と3週連続純流出、ETFは+739億ドル/約11.7兆円と29週連続純流入で週次データのある2009年6月1日以降で最大の純流入

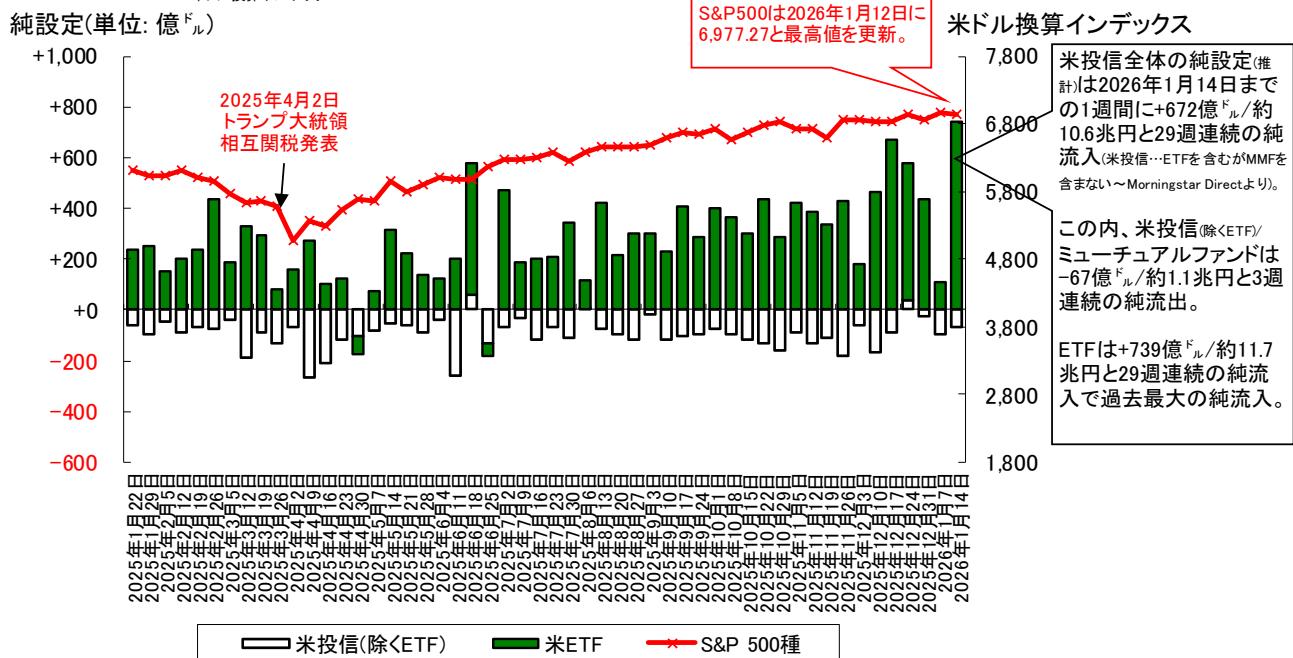
純流入にはミューチュアルファンドからETFへのコンバージョン/転換も寄与…2023年11月27日付日本版ISAの道 その391「アクティブ運用型ETFが米国を中心に世界で急増！」～ https://www.mufg.jp/report/investigate/column_231127.pdf ）。



米国の投信全体の純設定と米ドル換算インデックスの推移 (2025年1月22日～2026年1月14日、週次データ)

*米投信(ETFを含むがMMFを含まない)…モーニングスターの「US Open-end & ETF ex MM ex FoF」。

米ドル換算インデックス…S&P500



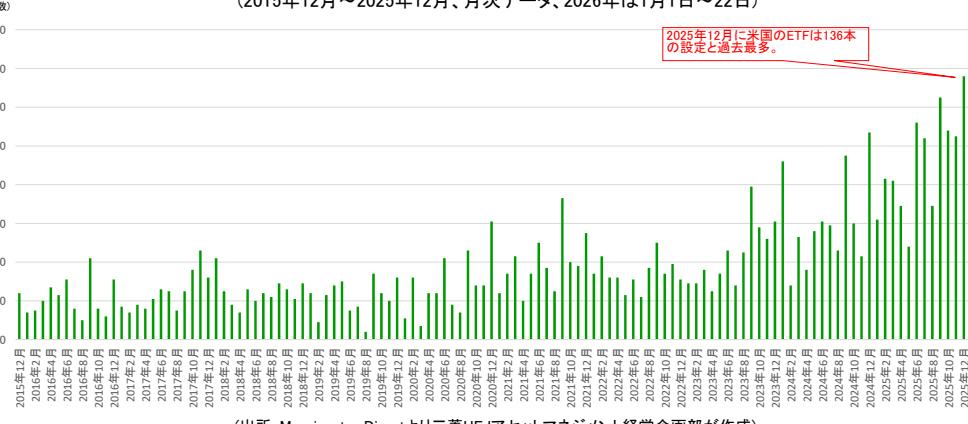
2025年12月に米国のETFは136本の設定と過去最多で、2026年は1月1日～22日で既に61本の設定で、2026年も引き続き米国でETFの新規設定ブームが続き、好調が継続しそうである

2025年12月付投信調査コラムNo.434「2026年は米国でETF(シェア)クラス設定ブームもありETF好調継続へ！～ETF革新の“第三の波”として暗号資産やDCでのETFクラス活用へ、日本の種類受益権とファミリーファンド方式～」～ https://www.mufg.jp/report/investigate/column_251208.pdf ）。



米国のETFの月次設定本数の移 (2015年12月～2025年12月、月次データ、2026年は1月1日～22日)

2025年12月に米国のETFは136本の設定と過去最多。



2026年1月14日週の投信全体(含むETF、除くMMF)純設定額を分類別に見る。純流入1~3位は、米国大型ブレンド株(S&P500連動など)、グローバル・エマージング株、米国中長期国債(4~6年)(日本株は+5億ドルと5週連続純流入、債券が+180億ドルと2週連続で増加)。純流出1~3位は、米国大型バリュー株、トレーディングレバレッジ株式(ブル型)、米国中型バリュー株。

米投信の分類別週間純流出入(純流入の大きい順)

*ETFを含むがMMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。

2026-01-14現在

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万ドル)	純流入 前週 (百万ドル)	純流入 4週計 (百万ドル)	純資産 (百万ドル)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント経営企画部)
上位 10 分類 ↑	1 Large Blend	+33,296	-9,486	+67,903	5,282,429	米国大型ブレンド株(S&P500連動など)
	2 Diversified Emerging Mkts	+2,675	+1,752	+6,293	651,043	グローバル・エマージング株
	3 Intermediate Government	+2,451	+447	+4,423	138,751	米国中長期国債(4~6年)
	4 Foreign Large Blend	+2,329	+2,346	+17,920	1,431,124	外国大型ブレンド株
	5 Multisector Bond	+2,103	+989	+4,927	182,674	マルチセクター債
	6 Commodities Focused	+1,872	-1,518	+4,392	322,048	商品・フォーカス
	7 Intermediate Core Bond	+1,709	+1,633	+8,057	710,666	米国中長期コア債
	8 Ultrashort Bond	+1,559	+3,175	+7,546	442,570	米国超短期債
	9 Industrials	+1,487	+1,270	+3,564	90,868	農業・インフラ・輸送等
	10 Short-Term Bond	+1,389	+1,251	+3,856	354,507	米国短期債
下位 10 分類 ↓	16 Technology	+1,050	+1,263	+1,582	482,998	米国テクノロジー株
	30 Japan Stock	+479	+250	+1,019	44,083	日本株
	115 Digital Assets	-259	+1,140	+498	165,075	デジタル資産(ビットコイン等)
	116 Small Value	-344	-143	-1,077	256,609	米国小型バリュー株
	117 High Yield Bond	-426	+190	-515	292,591	米国ハイイールド債
	118 Foreign Large Growth	-440	-491	-1,187	209,246	外国株大型グロース株
	119 Consumer Cyclical	-487	-333	-374	42,967	シクリカル消費財株
	120 Mid-Cap Growth	-629	-339	-1,840	292,760	米国中型グロース株
	121 Small Growth	-697	-268	-1,657	180,123	米国小型グロース株
	122 Mid-Cap Value	-727	-638	-1,165	305,747	米国中型バリュー株
123 Trading--Leveraged Equity		-1,451	-3,726	-4,882	134,903	トレーディングレバレッジ株式(ブル型)
124 Large Value		-2,096	-1,767	+301	1,504,096	米国大型バリュー株
全124分類の合計		+67,213	+1,422	+167,563	21,779,315	
		リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
TOPIX(東証株価指数)		+3.78	+3.00	+8.29		
S&P500		+0.10	+1.13	+3.13		
MSCI ワールド		+0.43	+1.37	+3.68		

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールド)は米ドルベース、配当込み指標。

純流入1位の米国大型ブレンド株(S&P500連動など)が+333億ドルなど米国株が全体で+310億ドルの純流入。セクター株が+66億ドルと8週連続の純流入で、昨年2025年10月1日週(+67億ドル)以来の大きな純流入。上記テーブルではそのセクター株の一つ「米国テクノロジー株/Technology」の好調が目立つ。ここにAI関連株投信が含まれる。

2026年1月20日付日本経済新聞で「世界的に生成AI(人工知能)への関心が急速に高まっている。米国では大手テック企業がデータセンターへ巨額投資をしており、生成AIは若年層の失業率上昇の一因であるとも言われる。企業活動にとどまらず、社会を変える可能性を秘めた技術である。大手AI関連銘柄は業績が好調であり、将来の成長期待も非常に高い。米国株式市場で時価総額の上位銘柄はAI関連企業が占める。S&P500種株価指数では時価総額の上位銘柄への集中度が過去60年間で最も高い。関連銘柄に投資する上場投資信託(ETF)が組成され、株式市場の人気は極めて高い。」と報じられている(強調下線は当コラム筆者、2026年1月20日付日本経済新聞「生成AI関連銘柄の期待と現実」~

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQUB182740W6A1HC2000000/>)。

2026年1月15日に投資調査会社の米国モーニングスター/Morningstarは生成型人工知能/GenAI企業に特化した非上場市場/プライベートマーケット/private markets(後期段階)を含む初のベンチマーク「モーニングスター・ピッチブック GenAI 20指標/Morningstar PitchBook GenAI 20 Index」を発表した(2026年1月15日付Morningstar「Morningstar Launches First Pure-Play Generative AI Index」~ <https://www.morningstar.com/press-releases/2026/01/15/morningstar-launches-first-pure-play-generative-ai-index>)。

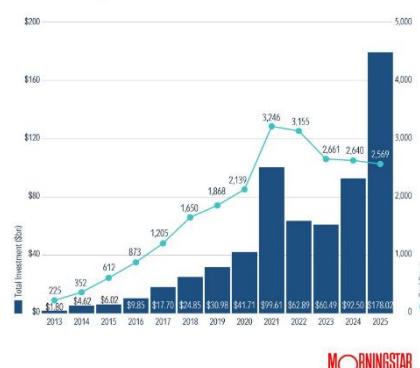
europe.com/morningstar-launches-first-pure-play-generative-ai-index/、「Morningstar PitchBook GenAI 20 Index」~ <https://indexes.morningstar.com/morningstar-pitchbook-generative-ai-20-index>)。

卷末の「本資料に関してご留意頂きたい事項」
および「本資料中で使用している指標について」を必ずご覧ください。

モーニングスター・インデックス/Morningstar Indexesのイノベーション責任者/Head of Innovationであるサンジェイ・アーヤ/Sanjay Arya氏は「この新しい指数は今後10年間で最も重要な成長テーマの一つを明確にするのに役立つ。プライベートマーケットがテクノロジーにおいてますます重要な役割を果たすようになるにつれ、透明性があり測定可能なベンチマークを持つ事が不可欠だ。」と言う(強調下線は当レポート筆者)。

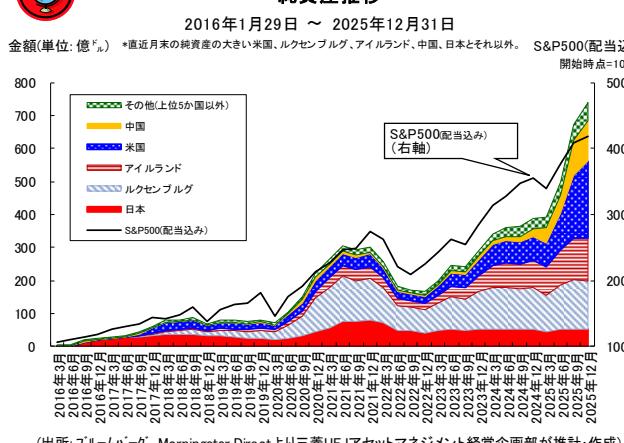
世界で人工知能/Artificial Intelligence/AIが注目されているが、AI関連企業に投資する投信も伸びている。AI関連株投信は、上記テーブルではセクター株のひとつである「Technology/米国テクノロジー株」に含まれる。

Benchmarking the GenAI Frontier

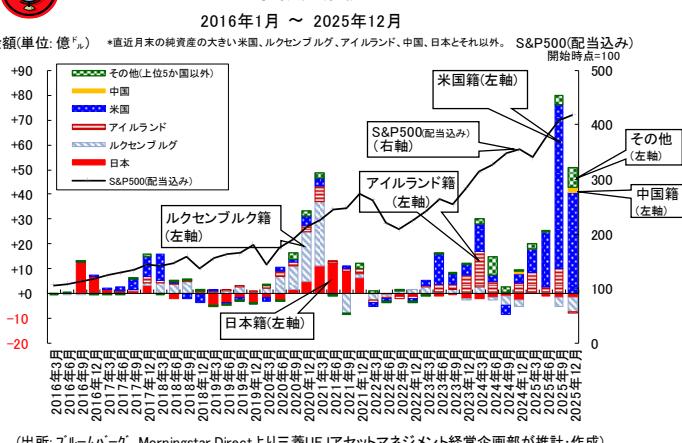


世界のAI関連株式ファンドの純資産は、2025年12月末に741億3,500万ドル/約11兆6,200万円と、2020年末比で3.3倍となっている(Morningstar Directによる筆者推計)。フローを見ると、2025年12月末までの3か月間に+42億7,810万ドル/約670億円と5四半期連続の純流入。2021年と2025年にかけて純流入が増えており、2021年はルクセンブルグ籍が先行し、続いて日本籍が流入も、足元2025年後半からは米国籍が急速に流入を増やしている。2026年の最新1月においては、米国籍米国テクノロジー株は2026年1月14日週に+11億ドル/約1,635億円と3週連続純流入中(農業・インフラ・輸送等/Industrialsや天然資源関連株/Natural Resourcesに次いでセクター株で3番目に大きな純流入)。なお、日本籍テクノロジー株は+193億円と2週ぶり純流入(モーニングスター全85分類中純流入額で9位)。

世界のAI関連株式ファンド(含むETF)の純資産推移



世界のAI関連株式ファンド(含むETF)の純設定推移



(出所: ブルームバーグ、Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が推計・作成)

(出所: ブルームバーグ、Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が推計・作成)

世界のAI関連株式ファンド(含むETF)の純資産上位10クラス

	名前(シェアクラス)	通貨	ファンド形態	グローバル分類(モーニングスター分類)	国籍	投信会社名	設定日	純資産(クラス)(百万円)最新月末	純資産(クラス)(百万米ドル)最新月末	総経費率/エクスペクスペクション(%)
1	iShares A.I. Innovation and Tech Active ETF	米ドル	ETF	テクノロジー・セクター株	米国	iShares	2024/10/21	1,260,494	8,042	0.55
2	Global X Artificial Intelligence & Technology ETF	米ドル	ETF	テクノロジー・セクター株	米国	Global X Funds	2018/5/11	1,154,316	7,364	0.68
3	Xtrackers Artificial Intelligence & Big Data UCITS ETF	米ドル	ETF	テクノロジー・セクター株	アイルランド	ダイチ・アセット・マネジメント・エス・エー	2019/1/29	1,094,300	6,981	0.35
4	グローバルAIファンド	Yen	オープンエンドファンド	テクノロジー・セクター株	日本	三井住友DSアセットマネジメント	2016/9/9	513,917	3,279	1.94
5	Global X Robotics & Artificial Intelligence ETF	米ドル	ETF	株式その他	米国	Global X Funds	2016/9/12	495,760	3,163	0.68
6	E Fund Artificial Intelligence Theme ETF	Yuan Renminbi	ETF	中国株	中国	E Fund Mgmt Co.,Ltd	2020/7/27	488,882	3,119	0.24
7	Allianz Global Artificial Intellg A EUR	ユーロ	オープンエンドファンド	テクノロジー・セクター株	ルクセンブルク	アリアンツ・グローバル・インベスチャーズ・ゲーエムベーハー	2017/8/31	389,112	2,482	2.10
8	iShares Future AI & Tech ETF	米ドル	ETF	テクノロジー・セクター株	米国	iShares	2018/6/26	311,933	1,990	0.47
9	Allianz Global Artifl Intlgc AT USD	米ドル	オープンエンドファンド	テクノロジー・セクター株	ルクセンブルク	アリアンツ・グローバル・インベスチャーズ・ゲーエムベーハー	2017/3/31	285,578	1,822	2.10
10	Landseer Global Artificial Intelligence Fund	英ポンド	オープンエンドファンド	テクノロジー・セクター株	アイルランド	Landseer Asset Management UK LLP	2022/7/29	218,536	1,394	0.45
	402本 * 純資産は合計、他は平均(ブランク除く)。						2022/3/15	11,620,283	74,135	1.21
	最新もしくは最大(ブランク除く)						2025/12/5	1,260,494	8,042	4.60
	最古もしくは最小(ブランク除く)						1983/10/14	0	0	0.04

(出所: Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成)

以上

三菱UFJアセットマネジメント【投信調査コラム】日本版ISAの道(及び投信調査レポートの一部)のバックナンバー:

「 <https://www.am.mufg.jp/report/investigate/> 」。

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 経営企画部

松尾 健治(kenji-matsuo@am.mufg.jp)、

窪田 真美(mami1-kubota@am.mufg.jp)。

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料はNISA(少額投資非課税制度)など内外の資産運用に関する情報提供のために、三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の筆者の見解です。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

本資料中で使用している指標について

- TOPIX(東証株価指数)に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。
- MSCI ワールド インデックス、MSCI ジャパンに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
- NOMURA-BPI総合とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスです。同指標は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社の知的財産であり、運用成果等に関し、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は一切関係ありません。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会